

2002年9月の日本の天候

少雨（北日本、西日本）、多照（西日本）

天気概況

北日本から西日本にかけては、初め太平洋高気圧に覆われ、高温傾向が顕著だったが、中旬以降、天気は周期的に変わり、北日本と東日本を中心に低温傾向となった。月平均気温は、西日本で高かったほかは、平年並だった。また、台風と前線の影響で局地的に大雨となる日があったものの、広い範囲でまとまった雨が降ることは少なく、月全体としては少雨・多照傾向だった。南西諸島では、上旬に台風の影響で大雨となったが、中旬以降は晴れる日が多かった。

上旬：北日本から西日本にかけての地域では、本州の東海上で強まった太平洋高気圧に覆われることが多く、晴れて暑い日が多かった。小笠原諸島から東シナ海方面へとゆっくり西進した台風第16号の影響で、沖縄地方で暴風雨となったほか、前線の通過も重なって関東地方や四国地方などで局地的な大雨があった。**旬平均気温**は、北日本から西日本にかけての地域では高く、南西諸島は平年並だった。**旬降水量**は、東日本太平洋側と南西諸島で多かったほかは、少なかった。**旬日照時間**は、南西諸島でかなり少なく、北日本から西日本にかけての地域では多かった。

中旬：秋雨前線が本州付近まで南下するようになり、北日本から西日本にかけての地域の天気は周期的に変わった。北日本と東日本では北東気流や上空寒気の影響により、気温は低く、一部の地域で天気がぐずつく時期があった。16～17日には低気圧の通過で九州北部などで大雨となったが、秋雨前線の影響は全国的には小さく、少雨・多照となった地域が多かった。**旬平均気温**は、西日本太平洋側で高く、北日本日本海側と東日本太平洋側で低かったほかは、平年並だった。**旬降水量**は、西日本日本海側で多かったほかは、少ない地域が多かった。**旬日照時間**は、東日本で平年並だったほかは、多かった。

下旬：北日本と東日本では引き続き低温傾向であった。26～27日には低気圧の通過で東・西日本太平洋側でまとまった雨となったものの、台風や秋雨前線の影響は少なく、西日本では引き続き少雨となった。南西諸島でも晴れる日が多く、少雨傾向だった。**旬平均気温**は、北日本と東日本で低く、西日本と南西諸島で平年並だった。**旬降水量**は、北日本と東日本で平年並、西日本と南西諸島で少なかった。**旬日照時間**は、北日本と東日本で平年並、西日本と南西諸島で平年より多かった。

9月の気候統計

平均気温：西日本の一部で平年を1℃以上上回ったところがあったが、その他の地域では平年との差は±1℃以内であった。

降水量：関東・紀伊半島・南西諸島の一部で平年を上回ったところがあったが、その他の地域では平年を下回った。北海道・東北・近畿・四国・九州の一部では平年の40%以下となったところがあった。鹿児島(鹿児島県)など7地点で、月降水量の最小値を更新した。

日照時間：関東の一部などの地域を除き全国で平年を上回った。特に、北海道北部、西日本では平年の120%以上となったところが多かった。稚内(北海道)など5地点で、月間日照時間の最大値を更新した。平年を下回った関東などの地点でも平年の90%以上のところが多かった。

生物季節現象：ススキの開花が平年並～遅かった。
(気象庁観測部統計室)

9月の記録（1位更新のみ）

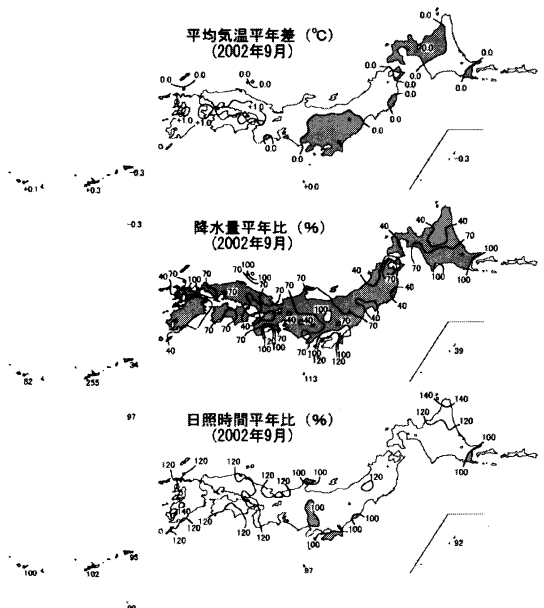
・月降水量の少ない記録（mm）

稚内	29.5	北見枝幸	43.0	羽幌	45.0
旭川	32.5	江差	37.0	深浦	59.5
鹿児島	28.5				

・日照時間の多い記録（時間）

稚内	250.7	北見枝幸	223.7	新庄	138.9
阿久根	244.1	鹿児島	243.7		

2002年9月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す